

「有機ケイ素機能性化学品製造プロセス 技術開発」(中間評価)

(2012年度～2014年度 3年間)

プロジェクトの概要 (公開)

実用化の見通し及び取り組みについて

産業技術総合研究所

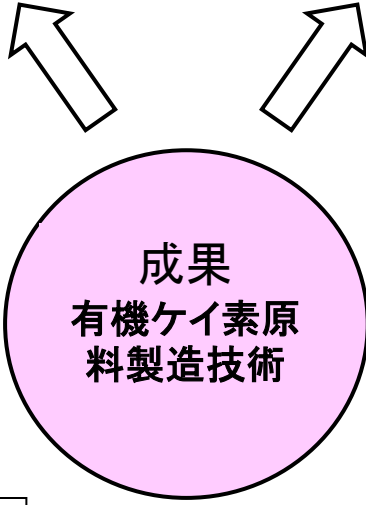
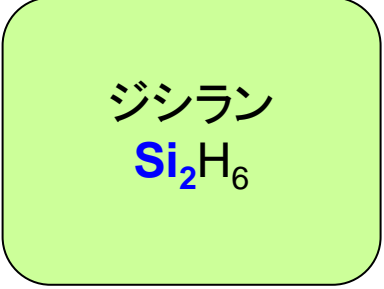
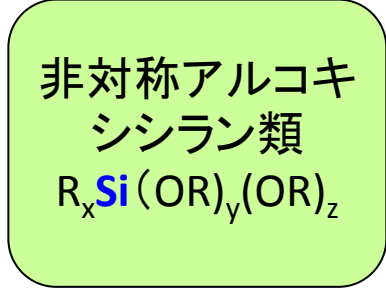
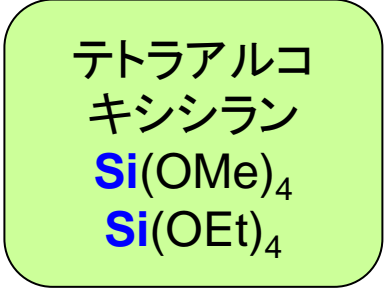
大阪市立大学・群馬大学・早稲田大学・関西大学

2014年 9月26日

◆本プロジェクトにおける「実用化」の考え方

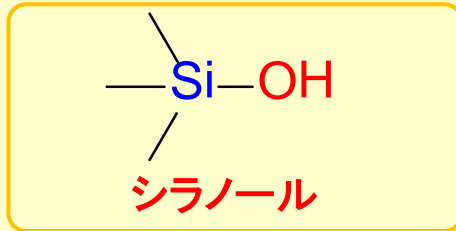
当該研究開発で開発された技術によるサンプルの顧客への提供が開始されることである。

◆ 成果の実用化の見通し



◆波及効果

無水条件でのシラノール合成



シリコーンレジンをはじめとする
種々の材料の基本単位
不安定で単離が困難なものが多かった

様々な研究への利用が可能となった

学術の推進・他分野への波及

- ・種々の材料の形成過程の解明
- ・新規材料開発
- ・生物分野への展開

産業人材育成

本プロジェクトは、企業から集中研に出向している研究者との日常的な共同研究を通して、産総研所属の研究員・博士研究員・テクニカルスタッフ等の産業人材育成に大きく貢献している。